



●すみれ荘・デイサービス

## 保健・福祉

過疎・少子高齢化がすすむ中で、本村の高齢化率は現在45%を越えており、誰もが安心して暮らせる環境の整備を目標にしています。

平成8年「保健・医療・福祉総合センターすみれ荘」、平成11年開設の「特養昭和ホーム」では介護保険制度導入に伴い、各サービスの強化展開と、対人サービスの拡充強化に努めていきます。

これらの超少子・高齢社会を活力あるものとしていくためには、健康増進と発病予防を目的とした、一次予防を重視することで要介護状態にならないための介護予防事業の実施と、生活の質を高め、実り豊かで満足できる生涯づくりを目指していきます。



●すみれ荘



●昭和ホーム



●乳幼児検診

# 活力ある村づくり



●内科診療

## 医療

国保診療所は、村内唯一の医療機関として村民のよりどころとなっております。内科・歯科の診療にあたっては、平日はもとより、休日・夜間救急、お盆や正月の帰省客などすべての患者さんに対応するなど、村民のニーズにあわせた幅広い医療サービスの提供がすすんでいます。

各医療器具についても



●歯科診療

整備を図り、疾病の診断が最も身近なところで早期に処置できるようにするなど、医療の充実を目指しています。

また、保健・福祉部門と連携をはかることで、在宅療養者の増加に対応するための拡充整備など地域の実体に応じた医療サービスの提供と医療情報システムの整備などに努めていきます。

少子・高齢化が進む中においても、村民一人ひとりが健康で、誇りを持っていきいきと安心して暮らしていける村づくりを医療の立場からも進めていきます。